

# 天下統一

四海統一は将にあり 下巻



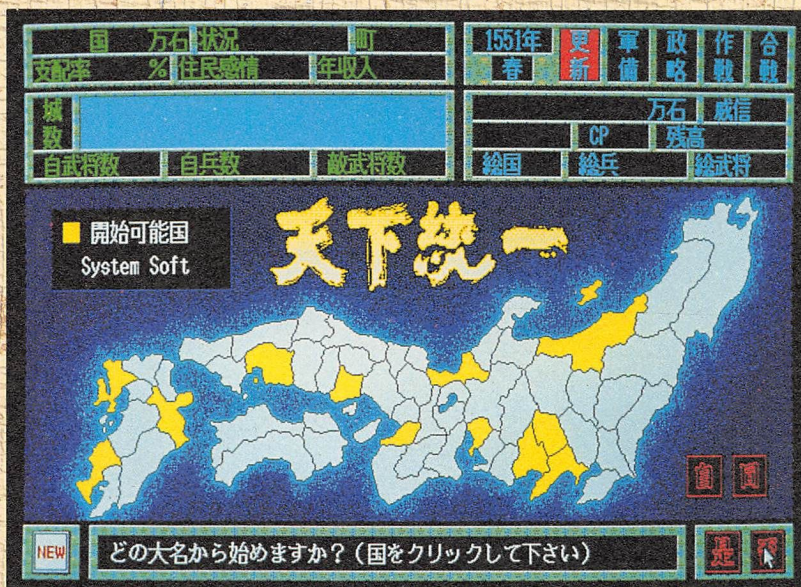


# 荒武者535騎、ここに集う!

前回の上巻で、各地に勢力を伸ばす武將たちの能力はわかったと思うが、それだけでは四海統一は成し遂げられない。毎年のように在野から世に出てくる、新しい武將の能力も知らなければ、天下人たりえることはできないのだ。そこで、この下巻が必要になってくるわけだ。この下巻には、ゲームの進行中に登場してくる武將、535人の能力がすべて網羅されている。上巻と合わせれば、『天下統一』に登場する武將の能力をすべて知ることができるのだ。

まあ、こういうことに理屈はいらない。とりあえず、新しい武將が現われるたびに、使ってくれればいいだろう。武將の能力を、名前だけで判断してはいけないう。『天下統一』では有名な武將には、かなり辛く能力値が設定されているようだ。そのへんは、この付録をよく見て、確認しておくといいたいだろう。

ところで、新しく登場する武將たちが何年に現われるかだが、これは実際の年齢にして24歳前後(±6歳)が目安のようだ。たとえば、1536年に生まれた木下秀吉の場合、1560年の前後数年の間に登場するというわけだ。

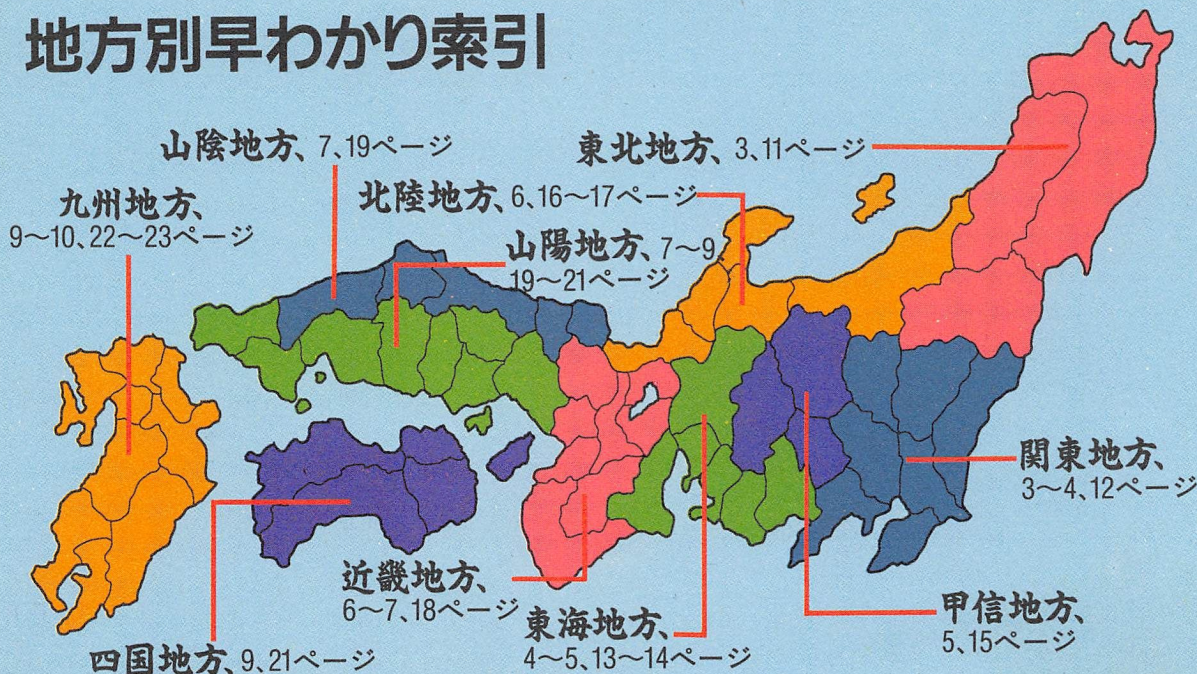


プレイヤーが最初に選べる国は、黄色で表示されている10カ国。それが、優秀な武將を集めて天下統一すると、58カ国でも遊べるようになる。この付録で良將を見分け、58カ国で遊べるようになるう。

| 表の見方 | 木下 秀吉 |   | 軍事 | 内政 |
|------|-------|---|----|----|
|      | ①     | ② | 8  | 15 |

① 武將の名前。ゲーム中で使用されている名前を、そのまま掲載してある。  
 ② 軍事値。最高は16で、この値が大きいほど合戦において目覚ましい働きをする。  
 ③ 内政値。最高は同じく16で、政略フェイズや包囲戦のときに影響する。

## 地方別早わかり索引





# 大名家の後継者たち

まずは、ゲームの進行中に登場する武将の中でも、大名家に現われるものだけを集めてみた。彼らは、大名の後継者である。後継者は、大名家が存在する限り登場できるのだが、滅亡して

しまえば、まだ現われていない武将は絶対に登場しない。この場合の滅亡とは、領地をすべて失うことであり、家督を武下の武将が継いで氏姓が変わることではない。



## 伊達氏

古くから奥州最強の武家と評され、1522年に陸奥国守護になり、奥州探題にも任命されている。独眼竜と呼ばれた政宗のころに最強の勢力を誇り、江戸幕府では仙台藩主に封じられた。

| 氏名    | 軍事 | 内政 | 氏名    | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|-------|----|----|
| 亘理 宗元 | 6  | 5  | 伊達 輝宗 | 4  | 9  |
| 伊達 政景 | 7  | 6  | 石川 昭光 | 5  | 1  |
| 伊達 政宗 | 8  | 12 | 伊達 成実 | 10 | 5  |

## 葦名氏

鎌倉時代中期ごろに会津地方に移住し、南北朝時代に勢力の基盤を確立した。室町時代後半に会津地方を平定し、盛氏のころに最盛期を迎えたが、1587年に伊達政宗によって滅ぼされた。

| 氏名    | 軍事 | 内政 | 氏名    | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|-------|----|----|
| 葦名 盛興 | 6  | 5  | 葦名 盛隆 | 6  | 3  |
| 葦名 義広 | 4  | 6  |       |    |    |

## 最上氏

足利家の一族である斯波氏の傍流。1514年に伊達氏と戦って大敗してから、奥州での立場は弱まった。義光のころに最盛期を迎え50万石の大名となったが、義俊が1万石に転封されている。

| 氏名    | 軍事 | 内政 | 氏名    | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|-------|----|----|
| 最上 義光 | 9  | 9  | 中野 義時 | 6  | 4  |
| 楯岡 光直 | 5  | 3  | 最上 義康 | 5  | 5  |
| 清水 義親 | 4  | 5  | 最上 家親 | 4  | 6  |

## 佐竹氏

鎌倉時代からの常陸国の豪族。戦国時代初期からの内乱で勢力は衰えたが、義昭のころに回復。伊達政宗の南下を押さえて、北関東に50万石を越す領国を持つが、のちに秋田へ転封された。

| 氏名    | 軍事 | 内政 | 氏名    | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|-------|----|----|
| 佐竹 義廉 | 6  | 7  | 佐竹 義堅 | 7  | 4  |
| 佐竹 義喬 | 5  | 8  | 佐竹 義重 | 12 | 7  |
| 佐竹 義斯 | 6  | 4  | 佐竹 義久 | 9  | 3  |
| 佐竹 義尚 | 6  | 6  | 佐竹 義宣 | 8  | 3  |
| 佐竹 義種 | 7  | 3  | 佐竹 義憲 | 8  | 4  |

## 足利氏

足利尊氏の四男、基氏に始まる鎌倉公方家。京都の将軍家と対立し、1439年には持氏が永享の乱を起こして、攻め滅ぼされた。持氏の息子の成氏が下総国へ移り、古河公方を名乗った。

| 氏名    | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|
| 足利 義氏 | 1  | 4  |







**織田氏**

平氏ないし藤原氏の末裔とされ、1400年に尾張国の守護代となった。信長の家系は織田家では傍流だが、信秀のころから宗家を凌いだ。信長の嫡流は滅んだが、織田家は現在も続いている。

|       |         |         |       |         |         |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 織田 信広 | 軍事<br>3 | 内政<br>4 | 織田 信行 | 軍事<br>5 | 内政<br>8 |
| 織田 信包 | 軍事<br>5 | 内政<br>3 | 織田 信治 | 軍事<br>4 | 内政<br>2 |
| 織田 秀信 | 軍事<br>4 | 内政<br>1 | 織田 信興 | 軍事<br>5 | 内政<br>2 |
| 織田 長益 | 軍事<br>2 | 内政<br>5 | 織田 長利 | 軍事<br>4 | 内政<br>3 |
| 織田 信忠 | 軍事<br>7 | 内政<br>7 | 織田 信雄 | 軍事<br>2 | 内政<br>3 |
| 織田 信孝 | 軍事<br>4 | 内政<br>4 | 津田 信澄 | 軍事<br>7 | 内政<br>4 |

**斉藤氏**

油商から身をおこし、1538年に美濃国の守護代である斉藤氏を継いだ。道三を敗死させた義龍は1561年に病死。その息子の龍興は織田信長に美濃国を追われ、1573年に死んでいる。

|       |         |         |       |         |         |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 長井 道利 | 軍事<br>7 | 内政<br>8 | 斉藤 長龍 | 軍事<br>6 | 内政<br>5 |
| 斉藤 龍興 | 軍事<br>5 | 内政<br>1 |       |         |         |

**北畠氏**

朝廷に仕えた貴族で、南北朝時代に伊勢国の国司となった。具教の時代に最盛期を迎えたが、織田信長の圧力に負け、1576年には暗殺された。一族のほとんどが殺され、北畠氏は滅亡した。

|       |         |         |       |         |         |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 北畠 具親 | 軍事<br>5 | 内政<br>5 | 北畠 具房 | 軍事<br>4 | 内政<br>3 |
| 北畠 具藤 | 軍事<br>5 | 内政<br>2 |       |         |         |

**武田氏**

新羅三郎義光を祖とする、甲斐源氏の家柄。鎌倉時代初期から甲斐国守護を務め、信玄の時代に最盛期を迎える。しかし、信玄の死後に家勢は衰え、1582年に織田信長に滅ぼされた。

|       |          |         |       |          |         |
|-------|----------|---------|-------|----------|---------|
| 武田 信廉 | 軍事<br>6  | 内政<br>6 | 武田 義信 | 軍事<br>8  | 内政<br>9 |
| 武田 勝頼 | 軍事<br>15 | 内政<br>7 | 武田 盛信 | 軍事<br>10 | 内政<br>1 |
| 武田 信勝 | 軍事<br>8  | 内政<br>4 |       |          |         |

**小笠原氏**

清和源氏の末裔が甲斐国小笠原に住み、小笠原の姓を名乗った。1553年、長時の時代に信玄に敗れて越後国に逃げ没落したが、一族は滅びず江戸時代には各地の大名となっている。

|        |         |         |        |         |         |
|--------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 小笠原 信貞 | 軍事<br>7 | 内政<br>3 | 小笠原 貞種 | 軍事<br>6 | 内政<br>6 |
| 小笠原 頼貞 | 軍事<br>8 | 内政<br>2 | 小笠原 長隆 | 軍事<br>9 | 内政<br>1 |
| 小笠原 卓慶 | 軍事<br>5 | 内政<br>7 | 小笠原 長継 | 軍事<br>6 | 内政<br>4 |

**村上氏**

南北朝時代から北信濃に勢力を張り、義清のころに最盛期を迎えた。しかし信玄に敗れて越後国に逃れ、上杉家の客将として失地奪回の戦いを続けるが、ついに果たせなかった。

|       |         |         |
|-------|---------|---------|
| 村上 国清 | 軍事<br>8 | 内政<br>5 |
|-------|---------|---------|



**上杉氏**

1559年に上杉憲政から関東管領の職を譲られ、上杉の姓を名乗った。景勝の時代、豊臣政権の五大老として120万石を領したが、関ヶ原の戦いで西軍についたため米沢30万石へ転封された。

長尾 景直

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 8  | 4  |

上杉 景勝

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 9  | 5  |

上杉 景虎

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 7  |

**神保氏**

鎌倉時代から畠山氏に仕えた、越中国の豪族。氏張は織田信長に属して佐々成政に仕え、その子孫は徳川家に従って家名は代々へと伝わっていった。

神保 氏純

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 4  |

神保 長住

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 5  |

神保 長城

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 4  |

神保 氏張

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 5  |

神保 長国

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 4  |

**畠山氏**

足利氏一族の畠山氏の庶流。1477年に義統が能登に下だったときから始まる。1545年から重臣たちの紛争が続き、1566年に義綱が追放、1577年に七尾城を上杉謙信に落とされ滅亡した。

畠山 義綱

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 3  |

畠山 義慶

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 4  |

畠山 義隆

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 3  |

**朝倉氏**

平安時代から続く名門で、源平争乱では平家側についた。1471年から一乗谷に本拠地を移し勢力を伸ばしたが、織田信長との戦いに敗れ、1573年8月の義景の自刃で朝倉氏は滅んだ。

朝倉 景行

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 3  |

朝倉 景健

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 2  |

朝倉 景鏡

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 4  |

朝倉 景綱

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 3  |

**浅井氏**

近江国浅井郡の地方豪族で京極氏の家来だったが、1520年前後には実権を奪い取っていた。久政が勢力を伸ばし、長政の時代に戦国大名となったが、1573年に織田信長に敗れ、滅亡した。

浅井 頼政

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 4  |

浅井 秀政

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 5  |

浅井 長政

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 13 | 6  |

**六角氏**

鎌倉時代から近江国の守護になる。1500年ごろから勢力を著しく伸ばし、將軍家の家督にまで影響力を持つほどになった。1563年、義賢が重臣を暗殺したことから没落していった。

六角 義治

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 6  |

六角 義定

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 4  |

**波多野氏**

丹波国の地方豪族。戦国時代初期に勢力を伸ばすが、1557年に松永久秀に攻撃され衰退した。一時的に織田家についたが、その後に毛利家へ協力、織田家の攻撃を受け滅亡した。

波多野 元秀

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 4  |

波多野 秀治

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 3  |

**細川氏**

足利幕府の管領の家柄。晴元は細川高国を倒して政権を奪ったが、1549年に三好長慶に敗れ、足利義晴や義輝とともに近江国に逃れた。この後、細川家が権力を握ることはなかった。

細川 元定

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 4  |

細川 昭元

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 6  |

細川 元勝

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 3  |



## 三好氏

甲斐源氏小笠原氏の末流。細川氏に臣従して畿内に進出し、権力を身につけていった。長慶の時代には畿内を制圧して政権を握ったが、義継が織田信長に敗れて滅亡した。

三好 政康

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 5  |

安宅 冬康

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 7  |

十河 一存

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 10 | 5  |

三好 義興

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 4  |

三好 長治

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 1  |

十河 存保

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 9  | 3  |

三好 義継

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 1  |

## 松永氏

京都の商人出身といわれているが、久秀の本当の家系は不明である。久通は父の久秀とともに、織田信長に謀叛を起こして敗北した。1577年、信貴山城でのことである。

松永 久通

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 8  |

## 畠山氏

兄の高政が遊佐信教に追われたのち、昭高は河内国の支配を行なった。高政とともに信教の暗殺を計画するが、逆に暗殺されてしまう。これにより、近畿の畠山氏も没落する。

畠山 昭高

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 5  |

## 一色氏

室町幕府の四職の家柄。義道は足利義昭を助けたため、1578年に織田信長の攻撃を受けた。この攻撃はなんとか撃退したが、1579年に再び攻撃をうけ自害した。

一色 義道

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 2  |

一色 義清

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 3  |

一色 義定

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 4  |

## 山名氏

八幡太郎義家の末裔の家柄。応仁の乱を起こした持豊の時代に最盛期を迎えた。しかし、その後は急速に勢力を失い、1500年ごろには因幡と但馬の2ヵ国を領有するだけだった。

山名 堯熙

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 4  |

山名 堯政

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 3  |

## 山名氏

因幡と但馬の2ヵ国に分かれた山名氏は、お互いに争ってさらに勢力を弱めた。因幡国の豊国は豊臣秀吉に臣従し、徳川家康にも領地を保障されて家名を明治まで守った。

山名 豊成

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 4  |

山名 豊数

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 3  |

山名 豊国

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 3  |

## 尼子氏

宇多源氏の末裔で、室町時代初期から出雲国の守護となった。経久の時代に出雲国の周辺にまで勢力を伸ばしたが、晴久の時代に同族争いで勢力を弱め、1568年に毛利家に敗れた。

尼子 義久

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 3  |

尼子 倫久

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 2  |

尼子 秀久

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 3  |

尼子 勝久

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 4  |

## 浦上氏

1500年以前には2ヵ国の守護代を務めたが、徐々に衰退。宗景が少しは勢力を回復させたが、家臣の宇喜多氏が台頭し、1577年に追放されている。

浦上 清宗

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 4  |





## 赤松氏

応仁の乱で東軍に味方し、播磨、備前、美作の3ヵ国の守護になっている。しかし、その後は勢力を衰退させていった。則房は豊臣秀吉から、阿波国に1万石をもらっている。

赤松 義祐

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 4  |

赤松 則房

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 3  |

赤松 則英

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 2  |

## 宇喜多氏

浦上家の家臣だったが、直家の時代に主家を迫らせて美作と備前の2ヵ国を領有した。秀家は豊臣秀吉に見込まれて五大老となったが、関ヶ原の戦いで敗れ、家名は断絶した。

宇喜多 春家

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 11 |

宇喜多 忠家

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 8  | 7  |

宇喜多 基家

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 7  |

宇喜多 詮家

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 1  |

宇喜多 秀家

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 4  |

## 三村氏

備前国へたびたび出兵して宇喜多家と戦った元親は、毛利家と長い間にわたって友好を結んでいた。しかし、毛利家が宇喜多家と結んだため離反、そのため小早川隆景に攻められて自害した。

三村 家親

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 5  |

三村 親成

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 7  |

三村 元親

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 4  |

## 毛利氏

元就の時代に急速に勢力を伸ばし、輝元は豊臣政権の五大老を務めた。しかし、関ヶ原の戦いで西軍の総大将格になり、周防国と長門国のみに減封された。

吉川 元長

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 9  | 6  |

毛利 輝元

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 4  |

毛利 元清

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 8  | 5  |

繁沢 元氏

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 8  | 2  |

毛利 元康

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 4  |

吉川 広家

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 5  |

小早川 秀包

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 3  |

毛利 秀元

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 2  |

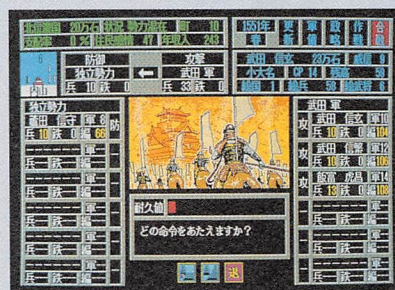
## 天下分け目の戦い ①

戦国時代には、のちの世の流れを決める合戦が2つあった。ひとつは山崎の戦い、ひとつは関ヶ原の戦いである。

山崎の戦いは、羽柴秀吉と明智光秀との間で争われた、信長以降を決める合戦であった。つまり、この戦いに勝ったほうが、ポスト信長の第1候補となるのだ。事実、勝った秀吉は織田家の重臣会議において主導権を握り、後継者の地位へとついている。これは、秀吉の才能もさることながら、主君の敵を討った、という実績がものをいったのだ。

ところで、なぜ光秀は敗れたのか？ それには、勢いというものに関係してくるのだ。戦いというものには、ときに作戦なんかよりも、勢いが勝敗を決める場合がある。山崎の戦いでの、光秀がそれだ！

光秀は、本能寺の変で勢いを使い果たし、ろくに善後策も立ててはいない。それに対して秀吉は、1日に2万5千の大軍を55キロも行軍させるといふ快挙をやつてのけている。この勢いに、日和見をしていた武將は圧倒され、続々



陣の張り方が、勝負を決めるときがある。決して、おろそかにしないこと。

と秀吉に味方をし始めたのである。これで勝負は決まった。山崎の戦いは、結果を立証しただけにすぎない。光秀は頼りにしていた細川藤孝や、筒井順慶にも見捨てられ、3対1の兵力で敗れさったのだ。



## 陶 氏

大内氏の一族で、周防国の守護代を務めた。晴賢の時代に大内義隆を自殺に追い込み、主家を乗っ取ったが、1555年に毛利氏と戦って敗死。ほかの一族も毛利氏に敗れ、滅亡した。

### 陶 長房

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 4  |

## 大内 氏

平安時代末期から周防国に勢力を張り、義隆の時代には中国、九州地方の7ヵ国の守護となった。しかし、陶晴賢の謀叛で義隆は自害、家督を継いだ義長も1557年に毛利氏に敗れ滅亡した。

### 大内 義尊

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 1  | 1  |

## 細 川 氏

管領家細川氏の一族で、代々阿波国の守護を務めた。持隆は中央の政権争いにも関与し、11代將軍義澄の孫を擁立しようとして失敗。三好義賢に敗れて、阿波細川家は没落した。

### 細川 真之

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 3  |

## 河 野 氏

平安時代から伊予国に勢力を伸ばした地方豪族で、室町時代には守護になっている。通直は長宗我部元親に降伏したのち、豊臣秀吉に逆らって所領を没収され、1585年に滅亡した。

### 河野 通政

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 3  |

### 河野 通宣

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 2  |

### 河野 通直

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 4  |

## 長宗我部氏

土佐国の地方豪族、一条氏の力を借りて勢力を伸ばし、元親の時代に一条氏も追い出して四国を平定した。盛親の時代に関ヶ原の戦いで改易、大坂の陣に敗れて刑死になり滅亡した。

### 長宗我部 元親

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 9  | 9  |

### 吉良 親貞

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 8  | 6  |

### 香宗我部 親泰

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 6  |

### 長宗我部 信親

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 10 | 7  |

### 長宗我部 盛親

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 11 | 5  |

## 宇都宮氏

豊前宇都宮家と下野宇都宮家は、同じ一族である。秀吉に降伏して伊予国に所領を与えられたが、旧領復帰を希望して反乱。朝房と鎮房は黒田孝高に暗殺されて、滅ぼされた。

### 宇都宮 鎮房

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 11 | 3  |

### 宇都宮 朝房

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 2  |

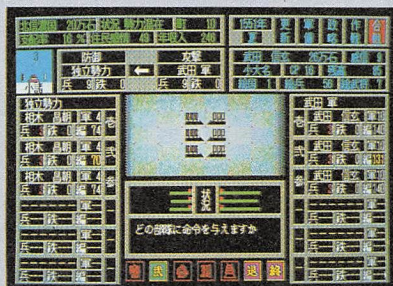
## 天下分け目の戦い ②

関ヶ原の戦いは、日本を2つに分けて争われた、秀吉以降を決める合戦であった。西軍が勝てば、豊臣家の天下は続いていたのだろうが、結果は周知の通り東軍が勝利して、徳川家康が天下人の地位についたのだ。しかし、家康は戦いに勝ったということだけで、天下を握ったわけではない。家康の天下取りの秘密は、その戦後処理の巧みさにあるのだ。

まず、関ヶ原の戦いは終わっても、日本各地で東軍と西軍の戦いは続いていたので、これを収束しなければなら

なかった。そのため家康は、関ヶ原での戦いが終わった翌日には、もう近江国に進撃し、石田三成の残党を討伐している。そして、戦後の1週間を近江国の大津で過ごし、各地の西軍勢力に睨みをきかせて、威嚇したのだ。

各地の戦火が収まると、家康はすばやく論功行賞を行なった。その内容は、西軍に味方した大名には厳罰、東軍に味方した大名には優遇、という明白なものだった。さらに、京都や堺という



◆鉄砲は勝敗を決める重要なポイントだ。余裕があれば、必ず購入しよう。

重要地域を直轄として、日本中の拠点を徳川家に取り込んだのである。

関ヶ原の戦いは、確かに天下分け目の戦いだった。しかし、家康が天下を握れたのは、徳川家絶対有利の戦後処理を、強引に押し進めたからである。



## 大友氏

蒙古襲来時には、鎮西奉行として活躍した家柄。宗麟の時代に最盛期を迎えたが、島津家との戦いで大敗。義統の時代に豊臣秀吉から豊後国を与えられたが、のちに没収されている。

大友 義長

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 6  |

大友 義統

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 1  | 5  |

大友 親家

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 2  |

大友 親盛

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 4  |

## 秋月氏

漢の高祖の末裔である、渡来人の安多倍王が始祖であるといわれる家柄。種実の時代に最盛期を迎えて36万石を領有したが、のちに日向高鍋3万石に転封され、明治維新まで残っている。

秋月 晴種

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 3  |

秋月 種実

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 5  |

秋月 種冬

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 2  |

秋月 元種

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 7  |

## 龍造寺氏

肥前国小津郷龍造寺の地頭になったことから、龍造寺の姓を名乗る。隆信の時代に北九州を制圧するが、島津家に敗れて衰退。豊臣政権中に家督も鍋島家が継ぎ、嫡流は指揮権を失った。

龍造寺 家就

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 9  | 6  |

龍造寺 信周

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 9  | 4  |

龍造寺 長信

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 5  |

鍋島 直茂

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 13 | 13 |

龍造寺 政家

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 8  | 3  |

## 相良氏

鎌倉時代から続く九州の名門。島津家の圧力に苦しんだが、豊臣政権下で球磨郡の大名になる。長毎は関ヶ原の戦いで西軍についたが、のちに東軍へ内応、江戸幕府でも大名として残った。

相良 義陽

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 4  |

相良 長毎

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 9  |

## 伊東氏

伊東氏は伊豆から日向に下り、戦国時代に勢力を伸ばした。1577年、島津家の侵攻に負け没落し、義賢と義勝は大友家で養育された。キリシタンの大友家だったので、2人とも洗礼を受けている。

伊東 義益

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 4  |

伊東 祐兵

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 7  |

伊東 義賢

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 2  |

伊東 義勝

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 3  |

## 肝付氏

平安時代から続く、大隈の名門。伊東氏と協力して島津と戦ったが、1574年に降伏した。そして、1580年に薩摩国へ移され、600年間、18代にわたった大隈支配の幕を閉じた。

肝付 良兼

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 3  |

肝付 兼亮

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 1  |

肝付 兼護

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 3  |

## 島津氏

鎌倉時代から続く、薩摩国の守護。義久は伊東氏や相良氏、龍造寺氏を破り、九州の大半を平定した。徳川政権下では薩摩国のみに減封されたが、幕末では倒幕の中心勢力になっている。

島津 義久

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 9  | 12 |

島津 尚久

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 8  | 5  |

島津 義弘

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 14 | 7  |

島津 歳久

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 11 | 11 |

島津 義虎

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 13 | 1  |

島津 家久

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 15 | 5  |

島津 豊久

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 10 | 5  |

島津 家久

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 7  |



# 地方ごとの武将たち

ここで集めた武将は国ごとに登場するので、その国をどの大名が支配しているかと、影響はまったくうけない。登場できる年代になると、更新フェイズで現われてくる。家臣にするかどうか

かは、能力を調べてからにしよう。また、この一覧表でどの国に優秀な武将が登場するか調べ、そこを狙って占領していくという手もある。良将は、じっとしていても集まらないのだ。



## 北陸奥国

|       | 軍事 | 内政 |        | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|--------|----|----|
| 白石 宗利 | 5  | 1  | 桑折 宗長  | 5  | 2  |
| 遠藤 基信 | 1  | 8  | 氏家 吉継  | 6  | 2  |
| 大崎 義隆 | 7  | 3  | 小山田 頼定 | 7  | 4  |
| 鬼庭 綱元 | 6  | 7  | 白石 宗実  | 8  | 3  |
| 片倉 景綱 | 10 | 10 |        |    |    |

## 南陸奥国

|        | 軍事 | 内政 |        | 軍事 | 内政 |
|--------|----|----|--------|----|----|
| 佐瀬 大和守 | 2  | 6  | 平田 駿河守 | 3  | 5  |
| 金上 遠江守 | 4  | 4  | 松本 図書助 | 5  | 3  |
| 猪苗代 盛国 | 4  | 2  | 田村 清顕  | 3  | 7  |
| 相馬 義胤  | 9  | 3  | 大内 定綱  | 7  | 8  |
| 結城 義親  | 4  | 6  | 畠山 義継  | 3  | 3  |
| 片平 親綱  | 7  | 4  | 石川 弾正忠 | 7  | 1  |
| 猪苗代 盛胤 | 6  | 1  |        |    |    |

## 出羽国

|       | 軍事 | 内政 |       | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|-------|----|----|
| 氏家 守棟 | 4  | 7  | 成沢 道忠 | 5  | 2  |
| 楯岡 満茂 | 6  | 5  | 延沢 満延 | 10 | 2  |
| 氏家 光氏 | 6  | 6  | 鮭延 秀綱 | 7  | 5  |





## 常 陸 国

|       |         |         |       |          |         |
|-------|---------|---------|-------|----------|---------|
| 江戸 通政 | 軍事<br>7 | 内政<br>2 | 大塚 親成 | 軍事<br>8  | 内政<br>4 |
| 江間 重氏 | 軍事<br>6 | 内政<br>6 | 小田 友治 | 軍事<br>5  | 内政<br>4 |
| 江戸 重通 | 軍事<br>4 | 内政<br>3 | 真壁 氏幹 | 軍事<br>10 | 内政<br>2 |
| 真壁 義幹 | 軍事<br>5 | 内政<br>7 |       |          |         |

## 下 総 国

|        |         |         |        |         |         |
|--------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 結城 晴朝  | 軍事<br>5 | 内政<br>5 | 千葉 清胤  | 軍事<br>5 | 内政<br>3 |
| 千葉 邦胤  | 軍事<br>4 | 内政<br>4 | 喜連川 国朝 | 軍事<br>2 | 内政<br>2 |
| 喜連川 頼氏 | 軍事<br>1 | 内政<br>4 |        |         |         |

## 上 総 国

|       |         |         |       |         |         |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 秋元 義久 | 軍事<br>3 | 内政<br>1 | 正木 憲時 | 軍事<br>6 | 内政<br>4 |
| 正木 時通 | 軍事<br>4 | 内政<br>6 | 正木 頼忠 | 軍事<br>4 | 内政<br>5 |

## 下 野 国

|        |         |         |       |         |         |
|--------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 大関 高増  | 軍事<br>3 | 内政<br>2 | 小山 秀綱 | 軍事<br>4 | 内政<br>5 |
| 芳賀 高継  | 軍事<br>3 | 内政<br>6 | 那須 資晴 | 軍事<br>6 | 内政<br>3 |
| 大田原 晴清 | 軍事<br>5 | 内政<br>8 |       |         |         |

## 上 野 国

|        |         |         |       |         |         |
|--------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 倉賀野 直行 | 軍事<br>3 | 内政<br>2 | 長尾 景長 | 軍事<br>4 | 内政<br>6 |
| 金井 秀景  | 軍事<br>3 | 内政<br>1 | 長尾 顕長 | 軍事<br>6 | 内政<br>4 |
| 小幡 信貞  | 軍事<br>8 | 内政<br>3 | 長野 業盛 | 軍事<br>8 | 内政<br>2 |
| 由良 国繁  | 軍事<br>5 | 内政<br>5 |       |         |         |

## 武 蔵 国

|       |         |         |       |         |         |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 太田 輝資 | 軍事<br>6 | 内政<br>7 | 太田 氏資 | 軍事<br>7 | 内政<br>6 |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|



|        |    |    |        |    |    |
|--------|----|----|--------|----|----|
| 成田 氏長  | 軍事 | 内政 | 秋元 長朝  | 軍事 | 内政 |
|        | 5  | 3  |        | 4  | 2  |
| 相 模 国  |    |    |        |    |    |
| 松田 憲秀  | 軍事 | 内政 | 笠原 康勝  | 軍事 | 内政 |
|        | 4  | 13 |        | 7  | 3  |
| 清水 康英  | 軍事 | 内政 | 芳賀 康忠  | 軍事 | 内政 |
|        | 6  | 6  |        | 6  | 7  |
| 大道寺 政繁 | 軍事 | 内政 | 遠山 政景  | 軍事 | 内政 |
|        | 7  | 12 |        | 8  | 4  |
| 芳賀 氏統  | 軍事 | 内政 | 大道寺 直次 | 軍事 | 内政 |
|        | 7  | 2  |        | 7  | 7  |
| 駿 河 国  |    |    |        |    |    |
| 朝比奈 信置 | 軍事 | 内政 | 一宮 宗是  | 軍事 | 内政 |
|        | 6  | 5  |        | 4  | 3  |
| 蒲原 氏徳  | 軍事 | 内政 | 大原 資良  | 軍事 | 内政 |
|        | 4  | 1  |        | 3  | 4  |
| 庵原 将監  | 軍事 | 内政 | 三浦 義就  | 軍事 | 内政 |
|        | 5  | 4  |        | 4  | 2  |
| 由比 正純  | 軍事 | 内政 | 岡部 正綱  | 軍事 | 内政 |
|        | 3  | 1  |        | 7  | 2  |
| 岡部 元信  | 軍事 | 内政 | 御宿 政友  | 軍事 | 内政 |
|        | 8  | 1  |        | 5  | 1  |
| 遠 江 国  |    |    |        |    |    |
| 天野 景貫  | 軍事 | 内政 | 久野 宗能  | 軍事 | 内政 |
|        | 6  | 5  |        | 3  | 3  |
| 朝比奈 泰朝 | 軍事 | 内政 | 伊井 直親  | 軍事 | 内政 |
|        | 7  | 2  |        | 6  | 6  |
| 小笠原 長忠 | 軍事 | 内政 | 伊井 直政  | 軍事 | 内政 |
|        | 8  | 2  |        | 8  | 7  |

## 関東を守った男

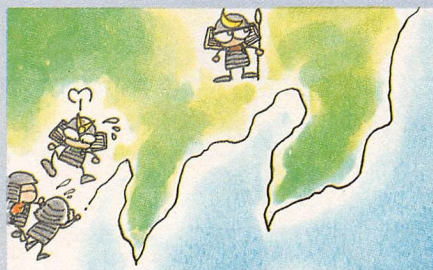
関東制覇こそ、東国大名の最大の悲願であった。上杉謙信、武田信玄、北条氏康といった英雄たちが、毎年のように関東平野で激戦を繰り返していたのだ。関東の小豪族などは、どこかの勢力に併呑されるしかなかった。しかし、上野国箕輪城の長野業正は違った。業正は、ほかの豪族が日和見にはしるなか、最後まで関東管領家に従い、北条氏や武田氏と戦い続けたのだ。

業正が出色の名将であったことは、

信玄の、「業正がいる限り上州には手を出せない」という言葉が証明している。事実、信玄は何度となく上野国に侵攻を行なうが、そのたびごとに業正と、剣の達人として名高い上泉信綱の2人に、撃退されていたのだ。

業正の智と信綱の勇に守られた上野国であったが、1561年に業正が病死すると、武田軍の侵攻に屈した。長野家の箕輪城も、

業正の死から2年で落城してしまう。信綱は生き残り、武田家への臣従を請われるが、断わって放浪の旅に立ち、己れの新陰流を柳生一族に伝承した。





## 三河国

|        |          |         |       |          |         |
|--------|----------|---------|-------|----------|---------|
| 酒井 忠次  | 軍事<br>6  | 内政<br>7 | 青山 忠門 | 軍事<br>5  | 内政<br>1 |
| 大久保 忠世 | 軍事<br>9  | 内政<br>4 | 石川 家成 | 軍事<br>7  | 内政<br>5 |
| 石川 数正  | 軍事<br>9  | 内政<br>8 | 吉良 義安 | 軍事<br>3  | 内政<br>2 |
| 大久保 忠佐 | 軍事<br>10 | 内政<br>1 | 奥平 貞能 | 軍事<br>5  | 内政<br>5 |
| 吉良 義昭  | 軍事<br>4  | 内政<br>1 | 水野 忠重 | 軍事<br>6  | 内政<br>3 |
| 菅沼 定盈  | 軍事<br>6  | 内政<br>1 | 本多 忠勝 | 軍事<br>13 | 内政<br>2 |
| 榊原 康政  | 軍事<br>10 | 内政<br>3 | 青山 忠成 | 軍事<br>5  | 内政<br>5 |

## 尾張国

|        |          |          |       |          |          |
|--------|----------|----------|-------|----------|----------|
| 佐久間 盛重 | 軍事<br>9  | 内政<br>4  | 森 可成  | 軍事<br>7  | 内政<br>3  |
| 滝川 一益  | 軍事<br>9  | 内政<br>8  | 柴田 勝家 | 軍事<br>12 | 内政<br>3  |
| 佐久間 信盛 | 軍事<br>6  | 内政<br>8  | 平手 汎秀 | 軍事<br>8  | 内政<br>2  |
| 丹羽 長秀  | 軍事<br>8  | 内政<br>8  | 池田 恒興 | 軍事<br>6  | 内政<br>3  |
| 木下 秀吉  | 軍事<br>8  | 内政<br>15 | 前田 利家 | 軍事<br>6  | 内政<br>8  |
| 佐々 成政  | 軍事<br>11 | 内政<br>1  | 木下 秀長 | 軍事<br>4  | 内政<br>12 |
| 堀尾 吉晴  | 軍事<br>6  | 内政<br>1  | 山内 一豊 | 軍事<br>3  | 内政<br>3  |
| 浅野 長政  | 軍事<br>5  | 内政<br>6  | 前田 利益 | 軍事<br>6  | 内政<br>5  |
| 佐久間 盛政 | 軍事<br>10 | 内政<br>1  | 森 長可  | 軍事<br>8  | 内政<br>2  |
| 前田 利長  | 軍事<br>4  | 内政<br>6  | 加藤 清正 | 軍事<br>10 | 内政<br>8  |
| 福島 正則  | 軍事<br>11 | 内政<br>1  | 浅野 幸長 | 軍事<br>9  | 内政<br>3  |
| 加藤 嘉明  | 軍事<br>8  | 内政<br>2  | 前田 利政 | 軍事<br>6  | 内政<br>4  |

## 美濃国

|       |         |         |       |         |         |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 不破 光治 | 軍事<br>8 | 内政<br>8 | 金森 長近 | 軍事<br>3 | 内政<br>6 |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|



|       |         |         |       |          |         |
|-------|---------|---------|-------|----------|---------|
| 遠山 友忠 | 軍事<br>5 | 内政<br>4 | 坂井 政尚 | 軍事<br>8  | 内政<br>6 |
| 遠山 景任 | 軍事<br>5 | 内政<br>4 | 遠山 景行 | 軍事<br>4  | 内政<br>6 |
| 斎藤 利三 | 軍事<br>7 | 内政<br>3 | 加藤 光泰 | 軍事<br>6  | 内政<br>2 |
| 稲葉 重通 | 軍事<br>6 | 内政<br>7 | 竹中 重治 | 軍事<br>11 | 内政<br>7 |
| 明智 光忠 | 軍事<br>5 | 内政<br>5 | 竹中 重矩 | 軍事<br>7  | 内政<br>5 |
| 稲葉 貞通 | 軍事<br>7 | 内政<br>4 | 氏家 行広 | 軍事<br>8  | 内政<br>4 |
| 堀 秀政  | 軍事<br>9 | 内政<br>3 |       |          |         |

## 伊勢国

|       |         |         |        |         |         |
|-------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 神戸 具盛 | 軍事<br>4 | 内政<br>3 | 奥山 常陸介 | 軍事<br>7 | 内政<br>1 |
| 関 盛忠  | 軍事<br>5 | 内政<br>1 | 九鬼 澄隆  | 軍事<br>4 | 内政<br>1 |
| 九鬼 嘉隆 | 軍事<br>4 | 内政<br>6 | 九鬼 守隆  | 軍事<br>4 | 内政<br>5 |

## 南信濃国

|       |         |         |        |         |         |
|-------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 諏訪 頼忠 | 軍事<br>6 | 内政<br>4 | 沢渡 盛方  | 軍事<br>5 | 内政<br>2 |
| 二木 重吉 | 軍事<br>6 | 内政<br>6 | 青柳 頼長  | 軍事<br>6 | 内政<br>3 |
| 木曾 義昌 | 軍事<br>8 | 内政<br>5 | 小笠原 信嶺 | 軍事<br>6 | 内政<br>4 |

## 三河武士の鑑、鹿角の兜の勇将

13歳で初陣をかざり、生涯で56回の合戦に参加した武将、本多平八郎忠勝。鬼神とも呼ばれて豪勇を称えられた、徳川家康の股肱の家臣である。豪勇で鳴る武将は思慮に欠けることが多いが、忠勝の深慮は何度も家康の命をずくっている。本能寺の変のあと、無事に伊賀越えを果たして三河国に帰れたのも、忠勝の勇断によるものだった。忠勝は、勇も知も兼ねそなえた武将だったのである。

この忠勝に対する評価は、すこぶる高い！ 有能な武将に惚れやすい豊臣

秀吉が、古今を通じて日本一の勇将、と誉めたのは理解できて、人を誉めることの少なかった織田信長が、花も実も兼ね備えた勇士、と評したのだから尋常なことではない。有名な、家康に過ぎたるものが二つあり唐の頭に本多平八、という言葉は誇大な表現ではなかったのだ。

この忠勝を、秀吉は何度も引き抜こうとするのだが、忠勝は決して家康を裏切ることはなかった。愚直な忠誠心、と言われた三河武士の心意気が、忠勝



にもあったのだ。家康が天下人になった理由はいくつもあるだろうが、その最大の理由は、愚直なほどの忠誠心を持った家臣の団結であろう。



## 甲斐国

|        |          |          |        |          |          |
|--------|----------|----------|--------|----------|----------|
| 真田 幸隆  | 軍事<br>6  | 内政<br>13 | 山本 勘介  | 軍事<br>7  | 内政<br>12 |
| 内藤 昌豊  | 軍事<br>9  | 内政<br>11 | 秋山 信友  | 軍事<br>8  | 内政<br>8  |
| 高坂 昌信  | 軍事<br>11 | 内政<br>1  | 山県 昌景  | 軍事<br>13 | 内政<br>9  |
| 板垣 信憲  | 軍事<br>7  | 内政<br>8  | 小山田 信茂 | 軍事<br>10 | 内政<br>7  |
| 穴山 信君  | 軍事<br>6  | 内政<br>11 | 真田 信綱  | 軍事<br>9  | 内政<br>5  |
| 土屋 昌次  | 軍事<br>10 | 内政<br>5  | 真田 昌幸  | 軍事<br>10 | 内政<br>10 |
| 大久保 長安 | 軍事<br>1  | 内政<br>16 | 真田 信幸  | 軍事<br>8  | 内政<br>9  |
| 真田 幸村  | 軍事<br>16 | 内政<br>4  |        |          |          |

## 北信濃国

|       |         |         |       |         |         |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 須田 満親 | 軍事<br>8 | 内政<br>7 | 依田 信蕃 | 軍事<br>6 | 内政<br>4 |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|

## 越後国

|       |          |         |       |         |          |
|-------|----------|---------|-------|---------|----------|
| 北条 高広 | 軍事<br>11 | 内政<br>1 | 吉江 景資 | 軍事<br>8 | 内政<br>1  |
| 斉藤 朝信 | 軍事<br>7  | 内政<br>6 | 色部 頸長 | 軍事<br>7 | 内政<br>3  |
| 松本 景繁 | 軍事<br>7  | 内政<br>4 | 本庄 秀綱 | 軍事<br>6 | 内政<br>2  |
| 河田 長親 | 軍事<br>6  | 内政<br>7 | 本庄 繁長 | 軍事<br>8 | 内政<br>8  |
| 大熊 長秀 | 軍事<br>7  | 内政<br>1 | 山吉 豊守 | 軍事<br>8 | 内政<br>4  |
| 吉江 資堅 | 軍事<br>5  | 内政<br>3 | 柿崎 晴家 | 軍事<br>9 | 内政<br>2  |
| 遠山 直次 | 軍事<br>6  | 内政<br>5 | 直江 兼続 | 軍事<br>9 | 内政<br>11 |

## 越中国

|       |         |         |       |         |         |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 石黒 左近 | 軍事<br>5 | 内政<br>3 | 椎名 重胤 | 軍事<br>3 | 内政<br>4 |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|

## 能登国

|      |         |         |       |         |         |
|------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 長 続連 | 軍事<br>5 | 内政<br>5 | 遊佐 続光 | 軍事<br>4 | 内政<br>5 |
|------|---------|---------|-------|---------|---------|



|                |    |    |      |    |    |
|----------------|----|----|------|----|----|
| 神保 周防守<br>長 連龍 | 軍事 | 内政 | 長 綱連 | 軍事 | 内政 |
|                | 3  | 6  |      | 6  | 4  |
|                | 軍事 | 内政 |      |    |    |
|                | 7  | 3  |      |    |    |

## 越前国

|                         |    |    |                |    |    |
|-------------------------|----|----|----------------|----|----|
| 前波 景当<br>魚住 景固<br>印牧 能信 | 軍事 | 内政 | 河合 吉統<br>前波 吉継 | 軍事 | 内政 |
|                         | 7  | 4  |                | 4  | 7  |
|                         | 軍事 | 内政 |                | 軍事 | 内政 |
|                         | 6  | 5  |                | 7  | 3  |
|                         | 軍事 | 内政 |                |    |    |
|                         | 8  | 1  |                |    |    |

## 北近江国

|                                  |    |    |                                  |    |    |
|----------------------------------|----|----|----------------------------------|----|----|
| 阿閉 貞往<br>赤尾 清冬<br>阿閉 貞大<br>石田 三成 | 軍事 | 内政 | 磯野 員昌<br>朽木 元綱<br>藤堂 高虎<br>片桐 且元 | 軍事 | 内政 |
|                                  | 6  | 4  |                                  | 10 | 2  |
|                                  | 軍事 | 内政 |                                  | 軍事 | 内政 |
|                                  | 7  | 1  |                                  | 5  | 5  |
|                                  | 軍事 | 内政 |                                  | 軍事 | 内政 |
|                                  | 6  | 2  |                                  | 6  | 9  |
|                                  | 軍事 | 内政 |                                  | 軍事 | 内政 |
|                                  | 6  | 15 |                                  | 5  | 4  |

## 南近江国

|                |    |    |                |    |    |
|----------------|----|----|----------------|----|----|
| 青池 茂綱<br>仙石 秀久 | 軍事 | 内政 | 蒲生 賢秀<br>蒲生 氏郷 | 軍事 | 内政 |
|                | 6  | 4  |                | 7  | 7  |
|                | 軍事 | 内政 |                | 軍事 | 内政 |
|                | 6  | 7  |                | 9  | 10 |

## 真田一族、奮戦す

無勢をもって多勢を破ることこそ、真田一族のお家芸である。真田幸隆は武田信玄の片腕として、上野国を守備し、上杉謙信と謀略戦を繰りひろげた。その息子の昌幸は才気絶倫と呼ばれ、二度に渡って徳川家の大軍を破っている。関ヶ原の戦いでは、3万8千の徳川軍をわずか2千の兵で翻弄したのだ。徳川家康などは「昌幸恐怖症」におちいり、真田が敵についた、と聞いただけで、ガタガタと震えだしたという。

天下人にさえ恐れられた真田一族。その最後を飾ったのが、真田幸村である。真田幸村といえば「十勇士」が思いだされるが、もちろん「十勇士」は実在

の人物たちではない。それではなぜ、「十勇士」の伝説が生まれたのか？ それは、幸村にリーダーとしての才能があったからだろう。人を使いこなす能力に、優れていたのだ。大坂の陣でも、多くの階層の人々が幸村を慕って集まり、死を恐れずに戦っている。幸村はそんな人たちを率い、それこそ知謀の限りを尽くし、徳川の大軍を撃退し続けたのだ。

しかし、幸村の奮戦も歴史の流れは



変えられない。大坂夏の陣で家康の本陣を二度に渡って敗走させるが、ついに力尽き、1615年5月7日に討死した。幸村、ときに49歳。その戦いぶりは敵、味方を問わずに感銘を与え、猛将島津家久をして、真田こそ日本一、と言わしめたのである。



## 山城国

|    |    |    |    |  |    |    |    |
|----|----|----|----|--|----|----|----|
| 三洲 | 藤英 | 軍事 | 内政 | 細川   | 忠興 | 軍事 | 内政 |
|    |    | 5  | 4  |  |    | 9  | 7  |
| 大谷 | 吉継 | 軍事 | 内政 |  |    |    |    |
|    |    | 9  | 9  |  |    |    |    |

## 丹波国

|    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 赤井 | 直正 | 軍事 | 内政 | 赤井 | 忠家 | 軍事 | 内政 |
|    |    | 9  | 4  |    |    | 4  | 2  |

## 摂津国

|       |    |    |       |    |    |
|-------|----|----|-------|----|----|
| 池田 勝正 | 軍事 | 内政 | 荒木 村重 | 軍事 | 内政 |
|       | 6  | 2  |       | 7  | 4  |
| 三好 政勝 | 軍事 | 内政 | 荒木 元清 | 軍事 | 内政 |
|       | 6  | 5  |       | 5  | 3  |
| 中川 清秀 | 軍事 | 内政 | 明智 秀満 | 軍事 | 内政 |
|       | 6  | 1  |       | 7  | 4  |
| 高山 重友 | 軍事 | 内政 |       |    |    |
|       | 5  | 5  |       |    |    |

## 河内国

|       |    |    |       |    |    |
|-------|----|----|-------|----|----|
| 津田 正時 | 軍事 | 内政 | 津川 義近 | 軍事 | 内政 |
|       | 2  | 6  |       | 2  | 1  |
| 東条 行長 | 軍事 | 内政 | 津川 義冬 | 軍事 | 内政 |
|       | 2  | 3  |       | 2  | 5  |
| 小西 行長 | 軍事 | 内政 |       |    |    |
|       | 7  | 9  |       |    |    |

## 大和国

|      |    |    |      |    |    |
|------|----|----|------|----|----|
| 越知家高 | 軍事 | 内政 | 島左近  | 軍事 | 内政 |
|      | 3  | 1  |      | 10 | 1  |
| 筒井順慶 | 軍事 | 内政 | 筒井定次 | 軍事 | 内政 |
|      | 2  | 7  |      | 4  | 2  |
| 筒井定慶 | 軍事 | 内政 |      |    |    |
|      | 1  | 4  |      |    |    |

## 紀伊国

|    |    |    |    |  |    |    |    |
|----|----|----|----|--|----|----|----|
| 土橋 | 守重 | 軍事 | 内政 | 土橋   | 重治 | 軍事 | 内政 |
|    |    | 7  | 2  |  |    | 6  | 3  |
| 太田 | 定久 | 軍事 | 内政 | 津村   | 信秀 | 軍事 | 内政 |
|    |    | 6  | 5  |  |    | 5  | 3  |
| 鈴木 | 重秀 | 軍事 | 内政 | 太田   | 宗正 | 軍事 | 内政 |
|    |    | 7  | 4  |  |    | 6  | 1  |
| 鈴木 | 重朝 | 軍事 | 内政 |  |    |    |    |
|    |    | 7  | 1  |  |    |    |    |



## 丹後国

沼田 勘解由

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 5  |

## 但馬国

山名 豊直

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 1  |

塩冶 周防守

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 1  |

## 因幡国

福田 光信

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 1  |

## 出雲国

立原 幸隆

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 7  |

米原 綱寛

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 1  |

立原 久綱

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 2  |

秋上 久家

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 1  |

山中 幸盛

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 8  | 3  |

亀井 滋矩

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 4  |

## 石見国

佐波 興連

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 3  |

益田 藤兼

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 4  |

福屋 隆兼

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 2  | 1  |

## 美作国

原田 貞佐

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 1  |

三浦 貞勝

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 2  |

## 毛利両川体制

両川とは、小早川と吉川の2つの川をとってつけられた言葉だ。小早川隆景に吉川元春、この2人が毛利家を支え繁栄させた両川である。

毛利元就は中国制圧のため、次男と三男を養子として他家へ送り込んだ。山陰地方の名門である吉川家へは次男の元春を、山陽地方に水軍を持つ小早川には三男の隆景を養子に入れて、その家の力を吸収してしまったのである。そして2人の両川に、長男の隆元を援護させようとしたのだ。元就は3人の息子に、ともに協力して毛利家を盛り

たてるべし、と教訓状を書いた。こういったところから、3本の矢の伝説が生まれたのだろう。

元就の希望通り、両川は毛利家を支えて戦い、毛利家を西国の覇者へと押し上げる。しかし、隆元や元就が死ぬと、両川体制にもヒビがはいてくる。隆景と元春の仲が豊臣秀吉との講和問題でこじれ、元春は隠居し1587年に死亡した。両川が、ひとつだけになってしまったのだ。その後も、隆景は毛利家のために活躍するが、3代目の輝元は支えがいのな



い主家で、先を案じつつ1597年にこの世を去った。両川の終わりである。

両川の支えのない輝元は、関ヶ原で西軍についてしまう。敗戦後、毛利家の助命に奔走したのは元春の三男である広家で、両川の最後の意地であった。



## 播磨国

|       |         |         |       |         |          |
|-------|---------|---------|-------|---------|----------|
| 赤松 正澄 | 軍事<br>3 | 内政<br>1 | 赤松 政直 | 軍事<br>4 | 内政<br>1  |
| 赤松 政範 | 軍事<br>3 | 内政<br>2 | 別所 長勝 | 軍事<br>5 | 内政<br>4  |
| 別所 重宗 | 軍事<br>6 | 内政<br>3 | 黒田 孝高 | 軍事<br>8 | 内政<br>13 |
| 淡河 定範 | 軍事<br>4 | 内政<br>2 | 別所 長治 | 軍事<br>7 | 内政<br>1  |
| 黒田 長政 | 軍事<br>8 | 内政<br>9 |       |         |          |

## 備前国

|       |          |         |       |         |         |
|-------|----------|---------|-------|---------|---------|
| 花房 正幸 | 軍事<br>8  | 内政<br>3 | 長船 貞親 | 軍事<br>4 | 内政<br>7 |
| 岡 利勝  | 軍事<br>5  | 内政<br>7 | 馬場 職家 | 軍事<br>7 | 内政<br>4 |
| 戸川 秀安 | 軍事<br>6  | 内政<br>6 | 明石 景親 | 軍事<br>6 | 内政<br>5 |
| 明石 景季 | 軍事<br>6  | 内政<br>2 | 明石 全登 | 軍事<br>9 | 内政<br>4 |
| 花房 職之 | 軍事<br>10 | 内政<br>2 | 江原 親次 | 軍事<br>4 | 内政<br>2 |
| 明石 景行 | 軍事<br>6  | 内政<br>3 | 明石 宣行 | 軍事<br>5 | 内政<br>2 |

## 備中国

|       |         |         |       |         |         |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 石川 久智 | 軍事<br>4 | 内政<br>7 | 清水 宗治 | 軍事<br>7 | 内政<br>4 |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|

## 備後国

|       |         |         |  |  |  |
|-------|---------|---------|--|--|--|
| 杉原 盛重 | 軍事<br>5 | 内政<br>7 |  |  |  |
|-------|---------|---------|--|--|--|

## 安芸国

|       |         |         |       |         |         |
|-------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 乃美 宗勝 | 軍事<br>6 | 内政<br>6 | 国司 元武 | 軍事<br>5 | 内政<br>4 |
| 村上 武吉 | 軍事<br>6 | 内政<br>1 | 吉川 経安 | 軍事<br>8 | 内政<br>3 |
| 穴戸 隆家 | 軍事<br>6 | 内政<br>7 | 吉川 経家 | 軍事<br>8 | 内政<br>2 |
| 福原 元俊 | 軍事<br>7 | 内政<br>4 |       |         |         |





## 周 防 国

| 問田 隆盛 | 軍事 | 内政 | 吉田 興種 | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|-------|----|----|
|       | 4  | 2  |       | 5  | 4  |
| 杉 隆泰  | 軍事 | 内政 | 小原 隆言 | 軍事 | 内政 |
|       | 6  | 3  |       | 6  | 4  |

## 長 門 国

| 内藤 隆春 | 軍事 | 内政 | 内藤 隆世 | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|-------|----|----|
|       | 4  | 6  |       | 6  | 2  |
| 佐波 隆秀 | 軍事 | 内政 |       | 軍事 | 内政 |
|       | 6  | 1  |       |    |    |

## 讃 岐 国

| 高原 次利 | 軍事 | 内政 | 羽床 資載 | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|-------|----|----|
|       | 2  | 4  |       | 3  | 3  |

## 阿 波 国

| 麻植 持光 | 軍事 | 内政 | 原田 秀兼 | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|-------|----|----|
|       | 3  | 2  |       | 2  | 3  |
| 赤沢 宗伝 | 軍事 | 内政 | 船越 景直 | 軍事 | 内政 |
|       | 4  | 1  |       | 5  | 1  |

## 土 佐 国

| 久武 親信 | 軍事 | 内政 | 江村 親家 | 軍事 | 内政 |
|-------|----|----|-------|----|----|
|       | 7  | 2  |       | 6  | 3  |
| 福留 親政 | 軍事 | 内政 | 谷 忠澄  | 軍事 | 内政 |
|       | 10 | 1  |       | 5  | 7  |
| 久武 親直 | 軍事 | 内政 | 桑名 親勝 | 軍事 | 内政 |
|       | 4  | 6  |       | 7  | 1  |
| 桑名 一孝 | 軍事 | 内政 |       | 軍事 | 内政 |
|       | 8  | 2  |       |    |    |

## 陶晴賢の乱

ゲームがスタートする1551年には、山口で大きな事件が起こっている。陶晴賢の謀叛による、大内義隆の自害だ。謀叛というと陶晴賢が一方的に悪いようだが、根本的な原因は攻められた大内義隆にあったのだ。

義隆は良く言うと文化人、悪く言えば軟弱な男だった。学問は儒学、宗学、和歌、連歌、漢詩文となんでも体得していて、京都から師を招いて勉強していた。それに加え、西の京都と呼ばれ

た周防国の山口では京風が色濃かったので、義隆は蹴マリや能といった貴族的な遊びにも精通していた。

こういった文化的な当主は、平和な時代だったら名君なのだが、戦国乱世では頼りないだけにすぎない。西国無双の侍大将と呼ばれた晴賢にとって、こんな主人は我慢がならなかったのだろう。当主の無能さで家が滅びてしまえば、その家臣たちも無事ですむわけがないのだ。

晴賢に主家を乗っ取るという

私心がなかったとは言えないが、少なくとも自分の生き残りをかけていたことは事実だ。能力のない主君は必要がない。それが戦国時代なのだ。





## 豊前国

長野 種信

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 4  |

## 豊後国

一万田 鑑実

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 10 | 9  |

志賀 鑑隆

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 3  |

木村 鎮秀

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 9  | 4  |

臼杵 鑑続

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 12 |

志賀 親度

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 6  |

臼杵 鑑速

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 7  | 10 |

朝倉 一玄

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 6  | 1  |

高橋 紹雲

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 14 | 6  |

吉良 統栄

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 5  |

立花 宗茂

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 15 | 2  |

志賀 親次

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 12 | 1  |

## 筑前国

問註所 鑑豊

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 2  |

赤司 資清

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 2  |

宗像 氏貞

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 3  | 5  |

問註所 統景

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 3  |

原田 信種

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 5  | 4  |

## 筑後国

筑紫 広門

| 軍事 | 内政 |
|----|----|
| 4  | 8  |

## 薩摩示現流の開祖

薩摩国に東郷重位という武将がいる。軍事8の内政1と、武将としての能力は低い。彼の個人的な軍事力はこんなものではない。15、いや16をつけてもいいかもしれないのだ。なぜか？ それは、東郷重位とは薩摩国のお留め武術、示現流の開創者だからである。

示現流の特徴は、打ち込みの速さにある。敵と向かいあったら一瞬間合意をつめて斬る、それが示現流なのだ。示現流では、手の脈が4回半搏動する間を“分”という。“分”を8分の1にした間を“秒”、“秒”の10の1が“糸”。“糸”

の100の1を“毫”と呼び、“毫”をさらに10分の1にした間のことを“雲耀”と呼んだ。示現流の極意は打ち込みの速さを、雲耀まで極めることである。この速さを得るために示現流の剣客は、立木に対して1日に数千回も打ち込みの練習をするという。雲耀の速さで踏み込み、雲耀の速さで打ち込むのだ。

雲耀の速さが生む打撃力は、想像を絶するものがある。東郷重位が、8寸(24センチ)の厚さの碁盤を試し斬りし



たとき、「チーイ」という、示現流の気合とともに振り降ろされた刀は碁盤を割り、畳を裏まで斬り通して床板まで達したという。この示現流は秘術として薩摩国のみで伝えられ、明治維新期の薩摩武士の心の支えとなったのだ。



## 肥前国

|         |          |         |         |          |         |
|---------|----------|---------|---------|----------|---------|
| 江副 信英   | 軍事<br>4  | 内政<br>9 | 宇礼志野 直通 | 軍事<br>6  | 内政<br>7 |
| 枝吉 種浄   | 軍事<br>3  | 内政<br>3 | 百武 賢兼   | 軍事<br>11 | 内政<br>2 |
| 宇礼志野 通治 | 軍事<br>8  | 内政<br>5 | 太田 家豊   | 軍事<br>7  | 内政<br>6 |
| 倉町 信俊   | 軍事<br>6  | 内政<br>4 | 有馬 義純   | 軍事<br>8  | 内政<br>5 |
| 円城寺 信胤  | 軍事<br>10 | 内政<br>6 | 有馬 晴信   | 軍事<br>10 | 内政<br>7 |

## 肥後国

|       |          |          |       |          |         |
|-------|----------|----------|-------|----------|---------|
| 犬童 頼安 | 軍事<br>10 | 内政<br>5  | 赤池 長任 | 軍事<br>12 | 内政<br>1 |
| 赤星 統家 | 軍事<br>10 | 内政<br>1  | 阿蘇 惟賢 | 軍事<br>2  | 内政<br>3 |
| 深水 頼方 | 軍事<br>5  | 内政<br>10 | 和仁 親実 | 軍事<br>9  | 内政<br>2 |

## 日向国

|       |         |         |
|-------|---------|---------|
| 北郷 時久 | 軍事<br>8 | 内政<br>5 |
|-------|---------|---------|

## 大隈国

|        |         |         |        |         |         |
|--------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 伊地治 重興 | 軍事<br>6 | 内政<br>3 | 伊地治 重秀 | 軍事<br>5 | 内政<br>5 |
| 肝付 兼寛  | 軍事<br>6 | 内政<br>4 |        |         |         |

## 薩摩国

|       |          |         |       |          |          |
|-------|----------|---------|-------|----------|----------|
| 猿渡 信光 | 軍事<br>12 | 内政<br>1 | 親納 忠元 | 軍事<br>10 | 内政<br>10 |
| 山田 有信 | 軍事<br>11 | 内政<br>4 | 穎娃 久虎 | 軍事<br>13 | 内政<br>1  |
| 東郷 重位 | 軍事<br>8  | 内政<br>1 |       |          |          |

## 将軍家の忠臣

この3人の武将は、足利将軍と行動をともにする、放浪の武将なのだ。そのため、普通はまったく登場しない。足利将軍が訪れた大名家に限って、彼らは登場するのだ。珍しい武将である。

|       |          |          |       |         |         |
|-------|----------|----------|-------|---------|---------|
| 細川 藤孝 | 軍事<br>6  | 内政<br>9  | 和田 惟政 | 軍事<br>7 | 内政<br>6 |
| 明智 光秀 | 軍事<br>10 | 内政<br>10 |       |         |         |



# 天下統一

四海統一は将にあり 下巻

